ゆうあいだより

【第二五四号】　令和四年九月一日発行

899-2431
鹿児島県日置市東市来町
美山1481番地1
友愛学園
☎　099-274-2912
fax　099-274-9571

キャンプとホーム活動特集

A棟　七月二十一日から宮崎県日南市の大島アドベンチャーに二泊三日で行ってきました。大島は現在は無人島ですが、廃校になった大島小学校を改装したキャビンからは、広場にアートもあり、高台からの海はバッグンの景色！とても眺めはよかったです。美山の星空もとてもきれいですが、キャンプでの星空はいつも以上に輝いていました。

台風が心配されましたが、皆の気合い！で天候も回復（？）しました。今回メインの活動は海・海・海。海水浴や釣りを満喫しました。思いがけなく天然のアサリ貝をたくさん掘ることができ、カレーに入れて煮込み、美味しく頂きました。今回、島全体が貸し切り状態だったため、ビーチでは周りに気を遣うこともなく、思う存分はしゃぎました。まっ黒に日焼けをした子ども達の姿は、とてもたくましく見えました。

コロナ禍で、日常生活で気を遣うことが多く思うような活動が出来ない中、思う存分楽しんだキャンプとなりました。

B棟　七月二十四日から甑島に二泊三日で行きました。昨年はコロナが増えた時期と重なりキャンプができなかったので、二年ぶり！。今年のテーマは、『絶対、楽しむぞー。』です。子ども達は、キャンプができたことに大喜び。フェリーに乗って、いざ甑島へ！

さて、これは担当の独断ですが、B棟のキャンプは絶対に「テント」と決めています。なぜなら、数年前のテントキャンプの時に、ある子が言った、「クーラーの持って来て！」という言葉を聞いて、アウトドアの楽しさを知って欲しいと思うようになったからです。今年も暑い中でのテント設営で、三チームに分かれて、「あ～でもない。こ～でもない。」と、チームごとに考え協力してテントを組み立てました。

言われた事を黙々と組み立てるコツコツちゃん。やりたいことだけ手伝うお調子者ちゃん。思い通りにいかなくてイライラする短気ちゃん。何をしたらいいのか？と立ち尽くすぼんやりちゃん。説明書を見ながら組み立てようとする真面目ちゃん。職員と子どものそれぞれの姿が見られて、とてもおもしろかったです。なんと、テント設営に二時間近くかかりました。

「これが、B棟か…。」

甑島では、朝も泳ぎ夕方も泳ぎ、海遊び三昧。キャンプが初めての二歳のSちゃんは、海遊びがとても楽しかったようで、

「いや。あがらない。」

と、最後の最後までねばって、なかなかあがろうとしませんでした。

帰る時には、「キャンプ楽しかった。もっと、キャンプしたかった。」という声が聞かれ、満足した子どもたちに職員も嬉しく思うことでした。来年は、どこにキャンプに行こうかな？と、次を楽しみにしている担当です。

C棟　八月一日から二泊三日で肝付町にある二俣川キャンプ場へ行ってきました。キャンプ場は大自然に囲まれ、夜は星空が美しい場所です。大人二名、小学生二名での活動でしたが、少人数だからこそ出来ることもあり楽しい時間となりました。

前日から台風の影響が心配されましたが、子ども達のパワーで雨の心配もなくなり、無事出発できました。日々の学園の生活から離れ、キャンプを楽しむことができました。バンガローに宿泊し、五右衛門風呂に入るため子ども達と火を起こしますが、なかなか上手く火は着いてくれませんでした。せっかく火が着いても慌てて木をくべ過ぎてしまい消してしまうハプニングもあり、日頃の生活のありがたさを肌で感じることでした。

バッティングセンター、卓球、サイクリング、ゴーカート、海水浴、ロケット発射基地見学等、盛りだくさんの活動が出来ました。暑い時にはかき氷を食べて『今年の夏』を満喫しました。

一番の思い出を子どもたちに聞くと、「火起こし！」と即答。帰ってきてからは、虫刺されや肌の焼けた子どもたちの様子を見て成長を感じたところでした。

D棟　楽しみにしていた大隅でのキャンプが、大荒れの天気予報のためキャンセルとなってしまいました。今年は全員で行けると楽しみにしていたので気落ちし

ていた子ども達。どうにかせねば！と、急遽「プールで水遊び」「美術展鑑賞」「映画鑑賞」「カレー作り」そして「児養協の絵画展」を山形屋へ見に行くグループに分かれて活動することになりました。コロナ感染の心配もありますが、できるだけ子ども達に色んな体験をさせたいと注意しながらの活動でした。プールでは久しぶりの水遊びに大はしゃぎ。気付けば水着の跡がクッキリ。美術展鑑賞では今流行の呪術回戦のグッズを手に入れ、映画鑑賞では大笑い。ちょっとおしゃれなカフェでのランチにドキドキしながら大人気分を味わいそれぞれが楽しんでいたようです。絵画展では展示された友達の作品を見ながら静かに闘志を燃やすのでした。

それぞれに楽しみつつもやっぱりキャンプへの思いは残ったようで、夏休みの宿題を頑張ったこと、色んな方々に支えられ私達は生活していてその感謝も込めて二学期も頑張ろうと子ども達と話すことでした。

『来年の夏はキャンプいけるといいな、イヤイヤ絶対に行きたい！』と、子ども達と願うのでした。

「言葉の暴力」とは（人権教室を開催）

八月二十八日、人権擁護委員の二名の先生にお越しいただき、夏休み恒例となっている人権教室を開催しました。昨年度は新型コロナの影響で開催出来なかったので、二年ぶりの開催となりました。

今回は、まず「言葉の暴力」というＤＶＤを全員で見ました。本人にとっては何気ない言葉でも、その言葉を受け取る相手によっては、見下されたり傷つけられたりしてしまうという内容の作品でした。心の痛みや傷は目に見えない分、知らない間に繰り返されてしまう危険性を持っていることを改めて考えさせられることでした。

子ども達からも「友達が友達をいじめているが、どうしたら良いのか？」等の質問が出されたり、真剣に自分を振り返る子どももいました。子ども達にとっても、大切な事を学べるよい機会となりました。これからの日々の生活の中に生かされていくことだと思います。先生方、ありがとうございました。

甘味で夏を乗りきろう

日頃より子ども達の自立支援へ多大なご協力を頂いている、杉木様、堂園様からのご支援を活用させていただき、夏休みの大きな思い出に、と子ども達からの意見を取り入れ、ケーキ・フルーツバイキングを八月二十七日に行わせていただきました。

地域のケーキ屋さんのケーキと地域の青果店さんのフルーツを購入し、コロナ対策を行いつつ子ども達自身が好きな物を選んで食べられるように工夫しました。栄養士や調理の先生方により、工夫をこらした美味しそうに盛りつけられた沢山のケーキとフルーツを眼の前にして、どれを選ぼう？と、子どもは大喜び！

＊ケーキバイキングは、とても美味しかったです。
＊自分で好きなケーキを選ぶことが出来て良かったです。
＊みんなとても笑顔になっていて、私も幸せな時間でした。ケーキバイキングは普段できないので、貴重なひと時を過ごすことができました。
＊ケーキがいっぱいあって、選ぶのが楽しかったです。
＊いろんなフルーツもあって、美味しかったです。と、子ども達からのコメントもありました。とても幸せな、そしてステキなひと時となりました。杉木様、堂園様、本当にありがとうございました。

ご協力に感謝

キムチギャラリー様　門司様　久保様
冨山様　福田様　杉木様　堂園様

今月もご協力ありがとうございました。

保護者・来園者の方へのお願い

子ども達の安心・安全を守るため、来園される際は、必ず事前に連絡をお願いします。来園時のマスク着用、消毒・検温にご協力をお願いします。予定されている学校行事等については、状況によっては中止、または入場制限等もあるかと思いますので、ご不明な点は職員にお尋ねください。

9月1日児童数35名

	（女子）	（男子）
幼　児	３名	２名
小学生	６名	９名
中学生	４名	４名
高校生	４名	３名
小　計	１７名	１８名

9月の行事予定

１日	幼小中　始業式
７日	小　連絡会
８日	幼　園外保育
９日	小　授業参観・ＰＴＡ
１０日	川商・支援校体育祭
１１日	中　体育祭
１２日	中　振替休日
１４日	中３　実力テスト
２２日	支援校前期終業式
２３日～３日	支援校秋休み
２５日	小　運動会
２６日	小　振替休日
２７日	中２ 修学旅行～29日
	中３　職場体験
３０日	中３　高校説明会